



環境省報道発表

令和7年4月28日（月）

令和7年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰について

1. 環境省では、平成11年度から「『みどりの日』自然環境功労者環境大臣表彰」を行っています。
2. 令和7年度は、計32件の個人又は団体が被表彰者に選ばれました。その表彰式を令和7年5月14日（水）午前に開催します。取材希望の方は、5月13日（火）17:00までに下記の宛先までお申し込みください。

【添付資料】

- ・ 別紙 令和7年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞者一覧

<詳細は次ページ以降>

内容についての問合せ先
環境省自然環境局国立公園課
国立公園利用推進室
代 表：03-3581-3351
直 通：03-5521-8271
室 長：佐々木 真二郎
室長補佐：中原 一成
室長補佐：中山 良太
係 長：大谷 修司

1. 趣旨

自然環境の保全に関して顕著な功績があった者（又は団体）を表彰し、これを讃えとともに、自然環境の保全について国民の認識を深めるものです。

2. 表彰者（予定）

環境副大臣

3. 対象者

① 保全活動部門（14 件）

貴重な自然や身近な自然などの保全のため特色ある活動を推進した者

② いきもの環境づくり・みどり部門（4 件）

地域における野鳥や小動物の生息環境の創出、あるいは日々の暮らしの中でのみどりの普及等を推進した者

③ 自然ふれあい部門（10 件）

自然とのふれあいに関する各種活動や行事を推進した者

④ 調査・学術研究部門（4 件）

自然環境の保全・創造や自然とのふれあいに関する調査、研究で顕著な功績がある者

⑤ 国際貢献部門（0 件）

自然環境の保全・創造や自然とのふれあいに関する国際協力を推進した者

計 32 件（個人 16 件・団体 16 件）。受賞者一覧は別紙のとおり

4. 表彰式（予定）

（1） 日時 令和 7 年 5 月 14 日（水）11:00～11:40

（2） 場所 環境省第 1 会議室

（東京都千代田区霞が関 1-2-2 中央合同庁舎 5 号館 22 階）

（3） 内容 表彰状授与、記念撮影

※ 表彰式欠席の受賞者には、後日、郵送等により表彰状及び記念品の授与を行います。

5. 表彰式の取材について

- ・ 表彰式は公開にて行います。
- ・ 取材希望の方は、令和 7 年 5 月 13 日（火）17:00 までに、国立公園利用推進室メールアドレス宛（koen_prize@env.go.jp）まで御連絡ください。その際、メールタイトルに「令和 7 年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰取材希望」と記載の上、「所属、氏名、連絡先（電話番号及びメールアドレス）、ムービー・スチール・ペンの別、参加希望人数」を明記してください。
- ・ 当日は、記者証又は腕章を携帯いただくとともに、環境省担当者の指示に従っていただきますようお願いいたします。

以 上

令和7年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰被表彰者一覧

【保全活動部門(14件)】

計32名

No.	受賞者	功績概要	功績概要②(表彰状用)	推薦元
1	寺島 一男 (北海道)	大雪山をはじめとした北海道内の自然環境保全に関する活動を永年、継続的に行っており、複数の環境保全団体の育成や、講演活動を通じ自然環境保全教育の推進を図るなど、地域の自然環境保全に尽力。	地域の自然環境保護活動	北海道
2	小杉 和樹 (北海道)	様々な活動を長年継続し、利尻島の自然の学術的価値を高めるとともにその保全活動に尽力。	地域の自然環境保護活動	北海道地方環境事務所
3	津曲 隆信 (青森県)	ラムサール条約登録湿地弘沼において、鳥類の保全や調査、外来種防除、教育などを長年にわたり尽力。	地域の自然環境保護活動	青森県
4	高山の原生林を守る会 (福島県)	磐梯朝日国立公園吾妻連峰にて登山道を外れて歩行することによる植生破壊・裸地化を防止するため、平成12年から登山道にロープを設置するボランティア活動を継続して尽力。	地域の自然環境保護活動	東北地方環境事務所
5	船橋のカザグルマをまもる会 (千葉県)	活動を通じ、地域における環境保全及び環境教育の推進に精力的な活動を展開しており、船橋市が進める活動にも尽力。	地域の自然環境保護活動	千葉県
6	幅口 隆一 (福井県)	福井県でのカモシカ調査が開始された初年度から約37年間にわたり、継続して調査員を務め、カモシカの積極的な保護活動に尽力。	地域の自然環境保護活動	福井県
7	佐藤 勝彦 (愛知県)	永年にわたり野生鳥獣の保護管理活動に貢献するとともに、狩猟者の育成と技術承継のため、積極的に育成事業に取り組むほか、地域の環境保全活動推進に尽力。	地域の自然環境保護活動	愛知県
8	一般財団法人 世界文化遺産 賀茂別雷神社葵の森保全 葵プロジェクト (京都府)	京都三大祭の「葵祭」で使用されるフタバアオイが激減している中、教育機関や企業・個人と共同してフタバアオイを育成し、自然・文化・伝統とのつながりを次世代へ継承する活動に尽力。	地域の自然環境保護活動	京都府
9	高雄地区水辺づくり協議会 (兵庫県)	ハマウツボをはじめとした希少種を保護するため、雑木や竹林の伐採、芝はぎ、除草等継続的な取組の結果、現在では県内最大の群生地となっており、団体の活動が、地域の希少種の生息環境保全に尽力。	地域の自然環境保護活動	兵庫県
10	村松 通宏 (島根県)	永年にわたり、自然公園・自然歩道等において、事故防止のための巡視、清掃活動、自然環境保全活動を行うなど自然環境保護思想の普及啓発に尽力。	地域の自然環境保護活動	島根県
11	岡 秀夫 (山口県)	長年、樺野川流域の自然環境を守り、後世に引き継ぐための様々な活動に尽力。	地域の自然環境保護活動	山口県
12	認定NPO法人 自然再生センター (島根県)	環境教育・環境学習の実施、民間主導の自然再生協議会設立による自然保護思想の普及啓発に尽力。	地域の自然環境保護活動	中国四国地方環境事務所
13	シチメンソウを育てる会 (佐賀県)	長年にわたり絶滅危惧種の保護・育成に取り組み、シチメンソウや周辺の有明海干潟の環境保全等に尽力。	地域の自然環境保護活動	佐賀県
14	奄美マングースバスターズ (鹿児島県)	長年のマングースの防除活動により、多数の在来種で個体数や分布域の回復が見られており、奄美大島における国立公園、世界自然遺産の価値としての生物多様性保全に尽力。	地域の自然環境保護活動	一般財団法人自然環境研究センター

【いきもの環境づくり・みどり部門(4件)】

No.	受賞者			
15	げんじぼたるとかじかがえるあいごかい ゲンジ蛭とかじか蛙愛護会 (山形県)	地域の自然環境を保全する活動を継続して行い、観賞会と学習会の開催により広く外部への啓発活動にも尽力。	みどりの普及等推進活動	山形県
16	しんりんこうえんごるふくらぶ 森林公園ゴルフ倶楽部 (埼玉県)	埼玉県の緑化植樹・環境整備、また全国的な環境保全活動等に尽力。	みどりの普及等推進活動	公益社団法人ゴルフ緑化促進会
17	しきんざんみどりのかい 紫金山みどりの会 (大阪府)	継続的な里山保全活動により地域のシンボルとなる植物の生育環境を持続させ近年は北千里・水遠池(ずいおんいけ)の湿地回復作業も開始し、地域の自然環境を守る活動に尽力。	みどりの普及等推進活動	大阪府
18	にほんやちょうのかいみやざきけんしぶ 日本野鳥の会宮崎県支部 (宮崎県)	永年にわたる観察会の実施、調査研究の実施・公表、啓発活動、提言等により、宮崎県全体の自然環境の普及啓発に尽力。	いきもの環境づくり活動	宮崎県

【自然ふれあい部門(10件)】

No.	受賞者			
19	とくていひえいりかつどうほうじん もりのまなびや 特定非営利活動法人 森のまなびや (青森県)	長年にわたって、子供たちの自然活動を支援し、自然とのふれあいを大切にしたい「自然教室」の活動に尽力。	自然とのふれあい活動	青森県
20	かとう こういち 加藤 紘一 (福島県)	福島県内における自然観察会や出前講座、本の執筆等の活動により、地域の子ども達をはじめとする人々に対し、自然への理解の浸透に尽力。	自然とのふれあい活動	東北地方環境事務所
21	あわせいぶつあいこうかい 安房生物愛好会 (千葉県)	会の発足以来、毎月実施している例会(観察会)等には多くの市民が参加しており、環境教育に尽力。	自然とのふれあい活動	千葉県
22	あんざい ひであき 安西 英明 (東京都)	日本初のウトナイ湖サンクチュアリの創設に関わり、民間自然保護区のモデルをつくる等、自然保護活動に尽力。	自然とのふれあい活動	公益社団法人日本環境教育フォーラム
23	とりやま よしこ 鳥山 由子 (神奈川県)	ネイチャー・フィーリングの思想の言語化、実践、各地での普及を創設から今まで誰よりも最前線で牽引し尽力。	自然とのふれあい活動	公益財団法人日本自然保護協会
24	のむら みゆき 野村 みゆき (福井県)	環境学習の拠点である越前市エコビレッジ交流センターの指導員や出前講座等環境学習の講師として、生物多様性や自然保護等の知識の普及啓発に尽力。	自然とのふれあい活動	福井県
25	かわい つくお 河合 嗣生 (京都府)	永年にわたり、京都御苑をフィールドとした自然観察会の解説や、苑内の昆虫類調査等を実施し、来苑者が自然環境にふれあい、その理解を深めることに尽力。	自然とのふれあい活動	京都御苑管理事務所
26	ささお かつゆき 笹尾 克之 (山口県)	長年、自然観察指導員として自然環境学習会を実施し、体験活動等を通じて次世代等に対する自然環境に係る普及啓発に尽力。	自然とのふれあい活動	山口県
27	しんじょうそん しんりんせらびーきょうざいかい 新庄村森林セラピー協議会 (岡山県)	自然保護活動と啓発活動により、毛無山エリアの認知及び利用者のマナー向上、各種ツアーガイドを通じて源流域の自然環境を守ることの大切さを広く普及し、流域全体の自然保護思想の啓発に尽力。	自然とのふれあい活動	中国四国地方環境事務所
28	いとゆうほどうくらぶ 伊都遊歩道クラブ (福岡県)	長年の活動により、登山道に約120本の道標が設置され、登山道の整備に尽力。	自然とのふれあい活動	福岡県

【調査・学術研究部門(4件)】

No.	受賞者			
29	うちだ ひろし 内田 博 (埼玉県)	長年鳥類学の研究と普及に努め、このような継続的な研究活動は学界だけでなく社会全体への鳥類学の普及に貢献し尽力。	生物等の調査・研究活動	公益財団法人日本鳥類保護連盟
30	もり すけたか 森 祐隆 (東京都)	自然を守り再生する取組や、防災・減災と地域づくりに関するの調査研究に尽力。	生物等の調査・研究活動	公益財団法人日本生態系協会
31	きょうとふりつかつらこうとうがっこう 京都府立桂高等学校 (京都府)	下水汚泥からリンを取り除く時に発生する循環可能な資源「リン酸マグネシウムアンモニウム(MAP)」に着目し、永年にわたって水環境保全や持続可能な社会の実現を目指して研究活動に尽力。	生物等の調査・研究活動	京都府
32	いぬい りゅうてい 乾 隆帝 (福岡県)	水圏生態系の保全と持続的な利活用を目的にした研究から、生態学と土木の融合に尽力。	生物等の調査・研究活動	福岡県